

都市再生整備計画(第4回変更)

ひめじじょうしゅうへん
姫路城周辺地区

ひょうご ひめじし
兵庫県 姫路市

令和7年1月

活用する交付金	確認
都市構造再編集支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォークアブル推進事業	■

目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	兵庫県	市町村名	姫路市	地区名	姫路城周辺地区	面積	256.9	ha
計画期間	令和2年度～令和6年度	交付期間	令和2年度～令和6年度					

目標
大目標:世界文化遺産・姫路城を擁する播磨の中核都市にふさわしい、賑わいと感動にあふれた姫路城周辺の再生 目標1:歴史を感じ、魅力と感動にあふれる姫路城周辺地区のまちづくり 目標2:安全・安心、快適な都市空間を創出し、人々が集い、賑わい、交流するまちづくり 目標3:行政と市民、民間事業者等の連携・協働によるまちづくり
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 本市では、姫路駅を中心に各種交通機関や商業・業務機能が集中し、播磨地域における社会経済活動の中心地として発展してきた。しかしながら、モータリゼーションの進展等を背景とした市街地の拡大、少子高齢化に伴う人口減少等を背景に中心市街地の空洞化が進み、低密度な市街地の形成等による都市機能の都市の低下が懸念される。こうしたことから、中心市街地において、姫路駅周辺都市再生整備計画事業、公共が保有する低未利用地を活用した文化交流施設や県立病院と民間病院の統合、手柄山中央公園の再整備により、都市機能の拡散防止及び市民の生活利便性の維持・向上を図る。 一方、既成市街地外縁部の住宅地では、人口減少、居住者の高齢化が顕著であり、人口密度を維持、経済力の維持・強化や地域コミュニティの維持・活性化を図る必要がある。このため、公共交通(駅・バス停)を拠点として、都心部や地域生活圏とのネットワーク化や公共交通網の充実を図りながら、ものづくり力の維持・強化につながる労働人口の増加に取り組むとともに、歩行者空間の確保や若者の転出超過の解消、子育てしやすい環境づくり、元気な高齢者の増加に取り組む。 公的不動産の活用策として、郊外移転した鉄道車両基地跡地を活用し、民間病院と統合した新たな県立病院や文化交流施設の整備を行うことで、都市機能の拡散防止と公共不動産の有効活用を図る。
まちづくりの経緯及び現況 ◇世界文化遺産姫路城を擁する姫路市の都心部は、本市を代表する都市イメージを形成・発信するとともに、古来より播磨の商業・業務・交通の中心としての役割を果たし、また、買物や飲食はもとより文化や芸術などに触れ、出会いや楽しみの場となっていた。特に大手前通りを中心とした地区は、かつては城下町として栄え、姫路市の商業・業務の中心的役割を果たしてきたが、都心部を取り巻く環境や社会経済情勢の変化、市民意識の変化などにより、果たしていた役割に陰りがみられるようになってきた。 ◇また、本市中心部の課題として、鉄道により市街地が南北に分断されており、慢性な交通渋滞など、様々な問題が発生していたが、鉄道を高架化することで南北市街地の一体化と交通の円滑化を図ることを目的とし、連続立体交差事業が実施されることとなった。 ◇この鉄道高架事業を契機として総合的・一体的な都市基盤整備が実施され、また、姫路駅周辺地区都市再生整備計画事業(第1期および第2期)において、姫路駅北駅前広場や眺望デッキ、大手前通りの再整備などが実施され、都心回遊の拡大や都心居住の促進など、播磨の中核都市にふさわしい良好な都市空間が形成された。また、キャストィ21イベントゾーンにおいては、姫路市文化コンベンションセンターや県立はりま姫路総合医療センター(仮称)の整備により、姫路駅周辺部の回遊性の拡大や都心の活性化に大きな期待が寄せられている。 ◇姫路駅前広場や眺望デッキ、大手前通りの再整備により魅力ある良好な都市空間が形成され、人々の交流と賑わいの創出が期待される一方、一部区間においてトランジットモールが完成されておらず、より安全・安心な歩行者空間の形成を推進していくため、トランジットモールの完全化が求められている。また、姫路駅からキャストィ21イベントゾーンへの快適かつ安全な歩行者ルートが確保されておらず、特に姫路駅より南側については、姫路駅南駅前広場の再整備が完了したものの、鉄道高架に沿った東西道路については、安全・安心で快適な歩行者空間の確保が求められている。 ◇大手前通りの再整備により快適で良好な都市空間が確保できた一方、沿道活用が追いついておらず、日常的な賑わいや憩いの空間の形成が求められている。 ◇姫路を訪れる観光客は平成30年度で総入込客数915万人、姫路城周辺では約262万人となっている。近年は来日外国人観光客の増加によるインバウンド効果もあり、姫路城を訪れる外国人観光客は年間約30万人を超えて推移している一方、姫路城周辺を訪れる観光客の総数は、平成の大改修後のグランドオープン時(平成27年度440万人)より約40%減少しており、姫路市を訪れる総入込客数の減少率(平成27年度1,190万人より約23%減少)と比較してもその減少の割合は大きく、姫路城周辺における魅力と回遊性を向上させ、賑わいを創出することが求められている。
課題 ◇社会情勢の変化、観光客や市民のニーズの多様化、高度化による、姫路城周辺地区の魅力と回遊性の向上による賑わいの創出。 ◇回遊性の拡大に伴う、姫路駅周辺部における安全・安心で快適な歩行者空間の確保。 ◇姫路駅前トランジットモールの完全化にむけた整備方針及び手法の検討。 ◇官民協働による快適な都市空間や景観の形成による賑わいと交流の創出と街なかの活性化。
将来ビジョン(中長期) ◇『姫路駅周辺は、本市の都市づくりの基本理念である「3つの共生」(人と人との共生、自然との共生、歴史・文化との共生)が具体的な姿となって表現される場所として、人々が憩い・くつろぎ交流し、水と緑があふれ、姫路城の外濠などの歴史資源を現在に継承する空間を創出する。』(姫路市総合計画 H21. 3) ◇『歴史的・文化的資源の活用による都心の魅力を高め、地域の特性を生かしつつ回遊性の高い都心の形成を目指し、高次都市機能の集積と基盤整備を進め、あわせて都心居住を促進し、播磨の中心都市にふさわしい魅力と活力ある都心の形成を目指す。』(姫路市都市計画マスタープラン H27. 3)

都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。							
都市機能配置の考え方 ・中心市街地は、歴史的に播磨地域の中心都市であった経緯から、鉄道駅やバスターミナルといった公共交通の結節機能、百貨店や商店街、企業の支店等を中心とした経済機能、市民会館や駅前市役所等の公共公益機能をもとより有しているところであるが、まちの賑わい及び感動の創出並びに地域経済の活性化に寄与するため、文化交流機能の充実を図る。 ・既成市街地外縁部については、人口減少、少子高齢化が顕著であることから、ものづくり力の維持・強化につながる労働人口の増加に取り組むとともに、歩行者空間の確保や若者の転出超過の解消、子育てしやすい環境づくり、元気な高齢者の増加に取り組むことにより、経済力の維持・強化や地域コミュニティの維持・活性化を図る。 ・郊外部については、自然環境との調和や共重環境の保全、地域資源や既存の都市施設を活かした土地利用を図る。							
都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方 ※誘導施設を整備する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。							
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等 都市再生土地区画整理事業や都市・地域交通戦略事業の特例を受ける場合は当該事業の概要、位置づけを記載。							

一体型滞在快適性等向上事業及びまちなかウォーカブル推進事業の計画 ※一体型滞在快適性等向上事業の場合もしくはまちなかウォーカブル推進事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。							
滞在快適性等向上区域の考え方 姫路駅、姫路城、文化コンベンション施設(アクリエひめじ)を拠点とし、各施設を含む概ね1000mの範囲を滞在快適性等向上区域に設定し、公共空間利活用の促進等により、官民一体となって居心地の良いまちなかを創出する。 ・滞在快適性等向上区域での取組 大手前通りにおいて、官民が連携して歩道の利活用を推進し、賑わいがあふれ、居心地の良い歩行者空間を創出する。 また、姫路駅西側では、リノベーションまちづくりを推進し、空き家・空き店舗の再生を行う。							

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1.姫路城周辺来訪者数の増加	人／年	姫路城周辺にある公共施設(好古園・美術館・歴史博物館・姫路文学館)利用者数	姫路城周辺における新たな魅力の創出による回遊性の向上の効果として、姫路城周辺施設の利用者の増加を目指す。	665,000	H29	727,000	R6
2.市民の満足度	ポイント	アンケートによる「魅力ある都心部の形成」や「都心部の賑わいづくり」に対する市民の満足度(平均得点)。	安全・安心で快適な都市空間や魅力ある都市空間の形成により、市民の満足度の向上を目指す。	3.26	H30	3.42	R6
3.街なか(商店街)の活性化	店舗／年平均	姫路市中心市街地エリアにおける新規出店店舗数の数	官民協働による賑わいと交流の創出により、街なかの魅力を向上を目指させることで、新規出店店舗数(1年平均あたり)の増加を図る。	11	H30	12	R6
4.歩行者・自転車通行量の増加	人/日	中心市街地主要地点10箇所における歩行者・自転車通行量	居心地がよく歩きたくなるまちなかづくりを進めることにより、歩行者・自転車通行量の増加を目指す。	106,266	H31	110,000	R6

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
■整備方針1 歴史を感じ、魅力と感動にあふれる姫路城周辺地区のまちづくり ◇都市再生整備計画(姫路駅周辺地区第1期H23～H26及び第2期H27～H31)及び姫路駅周辺土地区画整理事業(関連事業)における眺望デッキや北駅前広場、大手前通り等の整備により、播磨の玄関口としての良好で魅力ある都市空間が形成された。 ◇姫路駅から姫路城までの回遊性は向上したものの、姫路城北側への回遊性は十分とは言えず、姫路城周辺においても良好で魅力ある都市空間を形成するため、姫路城の北に位置する姫路公園(姫山公園)の再整備による当時の城郭の遺構表示や復元などにより、世界文化遺産姫路城を含む姫路公園の魅力をさらに高め、姫路城周辺の回遊性を向上させ、訪れた人が歴史を感じ、感動するためのまちづくりを行う。 ◇また、来訪者の快適な周遊ツールとして、シェアサイクルのスマートロック化を導入することで、姫路駅周辺だけではなく姫路城周辺の賑わいにつなげ、姫路城北側にある日本城郭研究センターや市立美術館、県立歴史博物館といった文教・学習施設など、姫路城周辺施設の利用者増につなげる。		■公園(基幹事業/姫路公園(姫山公園)) ■高質空間形成施設(基幹事業/姫路城夜間景観整備事業) □事業活用調査(提案事業/事業効果分析調査) □地域創造支援事業(提案事業/シェアサイクルスマートロック化事業)
■整備方針2 安全・安心、快適な都市空間を創出し、人々が集い、賑わい、交流するまちづくり ◇都市再生整備計画(姫路駅周辺地区第1期H23～H26及び第2期H27～H31)及び姫路駅周辺土地区画整理事業(関連事業)における歩行者デッキや北駅前広場等の整備により、安全な歩行者空間やくつろぎ・憩いの空間が創出でき、また播磨の玄関口として公共交通の利便性が向上された。 ◇一方で、姫路駅南側において、姫路駅南駅前広場の再整備が完了したものの、東西方向の動線である鉄道高架に沿った歩行者空間が不十分であり、また姫路駅からキャスティ21イベントゾーンへの歩行者ルートの確保が求められており、無電柱化及び美装化による安全・安心で快適な歩行者空間を確保する。 ◇また南北方向の動線である大手前通りは再整備による良好な空間が確保されたが、沿道利用が十分とはいえず、日常的な賑わいや憩いの空間を形成する。 ◇さらに、公共交通の一端をになっているシェアサイクルについて、スマートロック化を導入することで、住民等の利便性の向上を図る。		■道路(基幹事業/南駅前広場周辺まちなみ整備事業(無電柱化)) ■道路(基幹事業/姫路駅周辺地区((都)東駅前線ほか6路線)) ■高質空間形成施設(基幹事業/南駅前広場周辺まちなみ整備事業(美装化)) ■高質空間形成施設(基幹事業/内環状東線道路シェルター整備事業) ■高質空間形成施設(基幹事業/姫路駅東側自由通路整備事業) ■滞在環境整備事業(基幹事業(ウォーカブル)/大手前通りエリア等魅力向上推進事業) ■滞在環境整備事業(基幹事業(ウォーカブル)/大手前通り自動運転モビリティ社会実験) □事業活用調査(提案事業/事業効果分析調査) □地域創造支援事業(提案事業/シェアサイクルスマートロック化事業)
■整備方針3 行政と市民、民間事業者等の連携・協働によるまちづくり ◇官民協働での魅力ある都市空間を形成するため、市民や民間事業者との協働によるまちづくりをおこなう。 ◇官民協働によるワークショップ等により、魅力と賑わいある空間を創出し、街なかの活性化を目指す。		■滞在環境整備事業(基幹事業(ウォーカブル)/大手前通りエリア等魅力向上推進事業) □まちづくり活動推進事業(提案事業(ウォーカブル)/リノベーションまちづくり推進事業) □事業活用調査(提案事業/事業効果分析調査)
その他		
◇交付期間中の計画の管理 交付期間中においては各種の事業を円滑に進め、目標に向かって確実な効果をあげるために、事業成果についての評価や事業の進め方の改善を行う。 ◇効果を持続させるための方策 今後も市民が主体となり姫路駅前や大手前通りにおける都市空間の有効的な利活用を行う。 ◇姫路城周辺地域(野里街道地区)への訪問者の誘導 姫路城周辺の回遊性の向上にあわせ、姫路城北東部に位置する歴史的町並み景観形成地区である野里街道地区へも観光客を誘導する手法を検討する。 【姫路城周辺地区における令和7年度以降のまちづくりについて】 本地区においては、キャスティ21イベントゾーンにおいて整備中である姫路市文化コンベンションセンターや県立はりま姫路総合医療センター(仮称)の開業、併せてキャスティ21イベントゾーン周辺地区都市再生整備事業などの完了に伴い、快適で魅力的な都市空間が創出される。 これにともない姫路駅周辺には人々がより多く集まる一方で、姫路駅周辺部での安全・安心な歩行者空間の確保が必要となるためトランジットモール完全化に向けた整備事業を実施する予定である。		

交付対象事業費	1,565.5	交付限度額	782.7	国費率	0.5
---------	---------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業														
事業 細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間		交付期間内事業期間		（参考）全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内		交付対象 事業費	費用便益比 B／C
					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
道路	南駅前広場周辺まちなみ整備事業（無電柱化）	姫路市	直	L=270m	R2	R7	R2	R5	113.4	113.4	113.4		113.4	－
道路	姫路駅周辺地区（（都）東駅前線ほか6路線）	姫路市	直	L=1,540m A=8,027㎡	H1	R6	R2	R6	27,250	605	605		605	－
公園	姫路公園（姫山公園）	姫路市	直	A=2.6ha	S51	R9	R3	R6	30,702	266	266		266	3.13
公園														
古都保存・緑地保全等事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設														
高質空間形成施設	南駅前広場周辺まちなみ整備事業（美装化）	姫路市	直	L=300m	R2	R7	R2	R5	23.2	23.2	23.2		23.2	－
高質空間形成施設	内環状東線道路シェルター整備事業	姫路市	直	L=50m	R2	R2	R2	R2	56	56	56		56	－
高質空間形成施設	姫路城夜間景観整備事業	姫路市	直	一式	R2	R5	R2	R5	361.5	361.5	361.5		361.5	－
高質空間形成施設	姫路駅東側自由通路整備事業	姫路市	直	L=40m	R3	R3	R3	R3	124.6	124.6	124.6		124.6	－
高次都市施設 地域交流センター														
観光交流センター														
まちおこしセンター														
子育て世代活動支援センター														
複合交通センター														
誘導施設 医療施設														
社会福祉施設														
教育文化施設														
子育て支援施設														
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
バリアフリー環境整備事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業														
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計									58,630.7	1,549.7	1,549.7	0.0	1,549.7	－

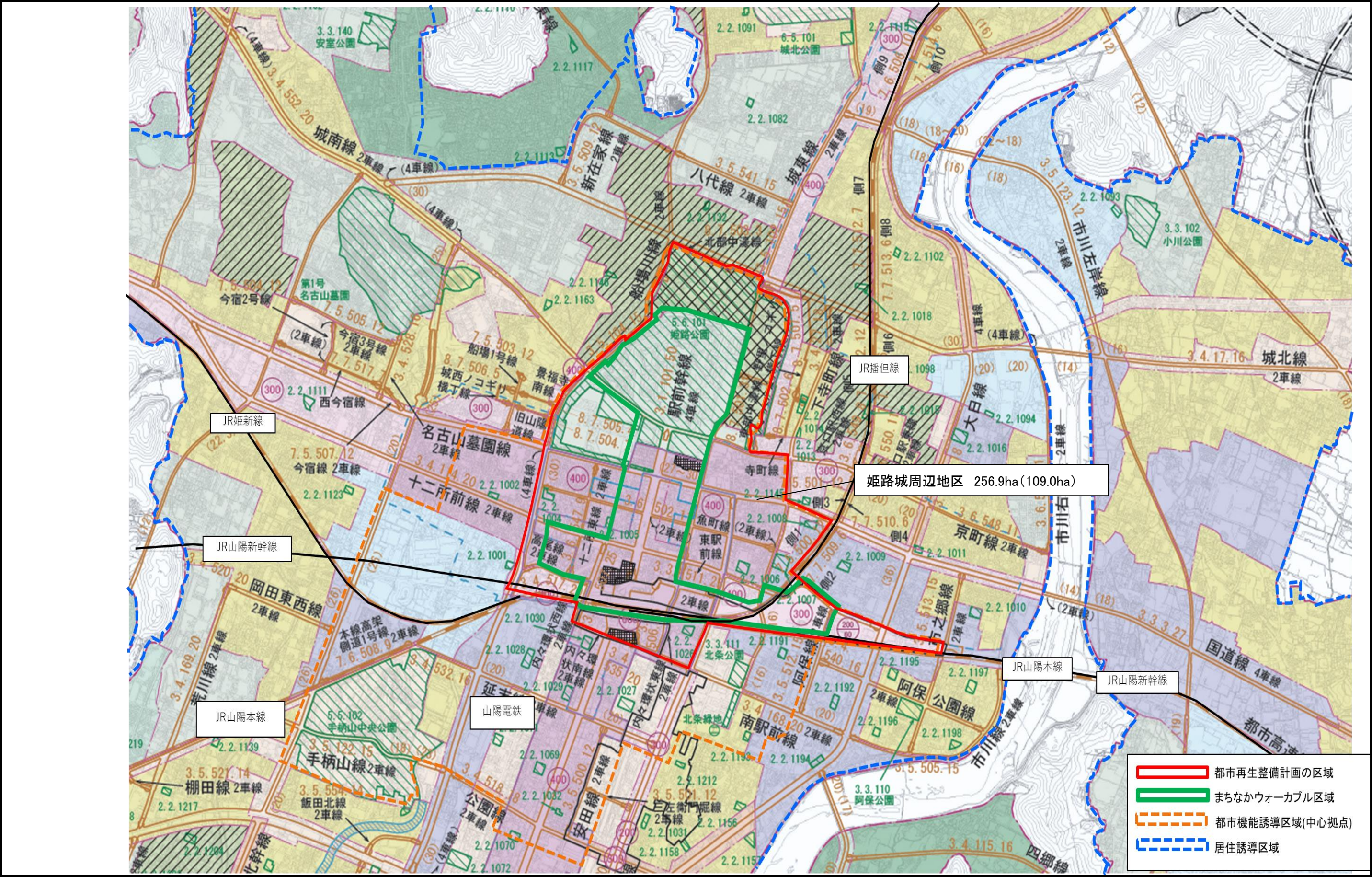
...A

提案事業														
事業	事業 細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費		交付対象 事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
地域創造 支援事業	シェアサイクルスマートロック化事業		姫路市	直	一式	R5	R10	R5	R5	117.4	13.5	13.5		13.5
事業活用調査	事業効果分析調査		姫路市	直	一式	R6	R6	R6	R6	2.3	2.3	2.3		2.3
まちづくり活動 推進事業														
合計										120	16	16	0	15.8
													合計(A+B)	1,565.5

...B

[illegible][illegible]

姫路城周辺地区(兵庫県姫路市)	面積	256.9 (109.0) ha	区域	北条口一丁目、北条口二丁目、北条口三丁目、北条口四丁目、北条口五丁目、神屋町、神屋町五丁目、神屋町六丁目、市之郷、日出町三丁目、南駅前町、南畝町、南畝町一丁目、南町、豆腐町、本町、綿町、立町、魚町、塩町、坂元町、福中町、十二所前町、忍町、高尾町、久保町、南町、鍵町、総社本町、本塩町、古二階町、平野町、二階町、西二階町、呉服町、紺屋町、亀井町、白銀町、北条、東駅前町、駅前町、西駅前町
-----------------	----	---------------------	----	--



■ 基幹事業
公園事業
姫路公園(姫山公園)

□ 提案事業
事業活用調査
事業効果分析調査

○ 関連事業
まちなかウォークラブル推進事業
姫路城周辺地区まちなかウォークラブル推進事業

■ 基幹事業
高質空間形成施設
内環状東線道路シェルター整備事業

■ 基幹事業
高質空間形成施設
姫路駅東側自由通路整備事業

■ 基幹事業
道路事業
南駅前広場周辺まちなみ整備事業
(無電柱化)

■ 基幹事業
高質空間形成施設
南駅前広場周辺まちなみ整備事業
(美化化)

○ 関連事業
土地区画整理事業
姫路駅周辺土地区画整理事業

■ 基幹事業
高質空間形成施設
姫路城夜間景観整備事業

■ 基幹事業
道路事業
姫路駅周辺地区((都)内環状東線ほか6路線)

○ 関連事業
都市構造再編集集中支援事業
(キャスト21イベントゾーン周辺地区)

○ 関連事業
暮らし・にぎわい再生事業
(キャスト21イベントゾーン周辺地区)

凡 例

- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業
- 都市機能誘導区域
- 都市再生整備計画区域

姫路城周辺地区 256.9ha

0 125 250 500 m

※図面範囲内全て居住誘導区域

[illegible]